

各位

2002年9月17日

会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 取締役社長 増倉一郎
 コード番号 8233

2002年8月度 高島屋営業報告

主要店舗および広域事業売上高前年増減率

	売上高増減率(%)	入店客数増減率(%)	営業日数増減数
東京店	4.7	3.0	+2日
横浜店	1.9	6.5	±0日
新宿店	18.6	15.3	+2日
関東9店計	0.7	4.3	
大阪店	6.2	3.5	+1日
京都店	14.0	9.2	+1日
関西9店計	9.3	2.8	
全店計	4.2	3.6	
法人事業	6.7		
通信販売事業	30.6		
広域事業(店外)計	55.8 (10.3)		
合計	5.6 (2.9)		

各店の売上高増減率は、店頭ベース。
 関東9店=東京、横浜、新宿、玉川、立川、大宮、柏、高崎、港南台
 関西9店=大阪、和歌山、京都、洛西、堺、泉北、岡山、岐阜、米子
 建装事業は、別会社化にともない2001年9月より広域事業から除く。
 ()内は前年数字より建装事業を除いた実質増減率。

商品別売上高前年増減率(百貨店協会商品区分)

紳士服・洋品	3.0
婦人服・洋品	3.1
子供服・洋品	3.1
その他の衣料品	0.7
衣料品計	2.8
身の回り品	8.7
家具	74.7
家電	7.6
その他の家庭用品	0.3
家庭用品計	48.0
食料品	3.8
食堂・喫茶	4.1
雑貨	0.4
サービス	8.1
その他	8.2
合計	5.6

概況

百貨店事業	<p>売上高は土曜日の1日増や営業日・営業時間の拡大に加え、猛暑の影響によりクリアランスセールや季節商材の動きが良く、全店計では2ヵ月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>店舗別では催事が好評で入店客数増の新宿店、京都店や堺店(+13.8%)が2桁増となった他、大阪店、泉北店(+9.4%)等も好調に推移し、東京店・横浜店のマイナスをカバーした。</p> <p>商品別では、スキンケア化粧品等の動きが良く高伸張となった婦人雑貨(+12.5%)を始め、秋色夏素材商品が牽引した婦人服(+2.1%)や紳士関連(紳士服:+5.1%、紳士雑貨:+8.2%)、特選衣料雑貨(+4.8%)、食料品(+4.6%)等主力商品が好調に推移した。</p>
広域事業	<p>法人事業は大口物件の受注増で前年実績を確保したものの、通信販売事業は主力である衣料品やリビング用品等の不振により大幅に前年実績を下回った。</p> <p>前年の建装事業売上分を除く実質ベースでは10.3%。</p>

以上